

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く19人の議員で構成、委員長菊池巳喜男議員、副委員長萩野幸弘議員）は、条例2件、予算1件、その他2件について付託を受け、審議を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全5議案が原案のとおり可決・承認されました。

「見える化プロジェクト」の挑戦とは 遠野一新会

【視察日程】
3月26日～27日
【視察研修先】
福島県いわき市
【参加議員】
織笠孝之
多田誠一
安部重幸
菊池充



いわき産米の放射線量モニタリング検査の様子

◆いわきの農林水産物「見える化プロジェクト」について
▽いわき市の「見える化プロジェクト」2年目の挑戦として、平成24年10月1日に、農作物の風評被害対策の対象を水産物や観光まで

広げ、復興と風評被害対策を目的とするプロジェクトチームとして、いわき市役所内に「見せまっすーいわき情報局 見せる課」を開設した。
3年目には、これまでのモニタリングの取組みに加え、「いわきのおいしさ確かめ隊」などによる複合的事業展開を継続しながら、信頼を積み重ね、いわき野菜のおいしさを検証し、情報発信を行っている。
その活動の一例として、いわき産野菜の魅力を消費者目線で発信するインタビュースタッフ活動、新橋SL広場での港区立御成門小学校の児童や一般来場者の方々が参加した摘み取り体験「出張いちご園」などがある。このような活動により、放射線量を隠すのではなく、積極的に開示することが有効だと判断し、「見

せる課」というキーワードのもと透明性の重要性を主張した情報発信が評価され、日本デザイン振興会「グッドデザイン賞」を受賞している。
◆とまとランドいわきについて
▽「とまとランドいわき」は、福島県の南東部に位置し、太平洋の黒潮の影響により、東北地方にあって、年平均気温約13度、年間日照時間は、2000時間を超える温暖な地域にある。
高収量トマトと地域活性化を第一に考えた農業経営を行っている。生産者の取り組みの経過と経営状況は、平成2年にオランダ式トマト温室の先進地視察を契機に、フェンロー型温室を建設し、翌年からトマトの年一作長期採り栽培を開始した。
生産者により栽培された農産物（トマト、いちじく等）を利用した加工食品の開発、販売を行い、東日本大震



トマトランドいわきハウス内

災の被害を短期間で克服し、地域の復興に貢献している。
生産にあたっては、灌水等きめ細かな環境制御を行い、施設内環境のデータや収量、病害虫の発生状況等をその都度分析し、改善に繋げている。こうした取り組みの継続により、生産管理の高度化が図られ、全国屈指の10アール当たり37トンの高

収量を実現している。地域貢献として、地域の生産者を農閑期に臨時雇用し、冬のトマト生産の労働力として活用し、地域の子どもの達施設見学の受け入れや収穫体験などを行い、農業を通じた食育活動にも積極的である。
※フェンロー型温室
換気効率を高めるために軒高が高い連棟型温室

遠野市火災予防条例における一部改正の詳細は

消防長が別に定める指定催しの要件とは。

【問】国の要件は、観客1万人以上、若しくは露天商が100店舗以上だが、本市の基準としては不合理がある。従って、遠野市の催しの中で当てはめた場合、遠野桜まつり、遠野まつり、産業まつり、馬力大会、そして遠野市花火大会を指定催しとし、その他必要に応じてその都度定める。

【答】指定催しを主催する者が定める防火担当者、事前研修を受けさせる考えはあるか。

【問】防火担当者は、催し開催日の14日前までに届け出る規定のため、分らない点は消防署が事前に指導する。その他にも各露天商には消火器の設置義務があるので、それと併せて指導したい。

【答】本市の65歳以上の認知症者は、25年度末で1054人、高齢者の10・3%である。19年度から25年度までの行方不明等の捜索件数は8件で、うち発見・保護7件、現在までの



火災に備え、技術を磨く消防操法競技会

認知症の現状と対策の取組は

【問】認知症による行方不明者が全国で年間1万人を超えたと報道された。本市の状況を把握や支援策は。

【答】本市の65歳以上の認知症者は、25年度末で1054人、高齢者の10・3%である。19年度から25年度までの行方不明等の捜索件数は8件で、うち発見・保護7件、現在までの

【問】認知症の現状と対策の取組は

【答】本市の65歳以上の認知症者は、25年度末で1054人、高齢者の10・3%である。19年度から25年度までの行方不明等の捜索件数は8件で、うち発見・保護7件、現在までの

【問】認知症の現状と対策の取組は

【答】本市の65歳以上の認知症者は、25年度末で1054人、高齢者の10・3%である。19年度から25年度までの行方不明等の捜索件数は8件で、うち発見・保護7件、現在までの

【問】盛岡市の認知症の方々が京都で発見されたという事例があった。本市の認知症の方々が、どこか遠くに行つて発見されたような場合の対応は。

【答】家族の有無など、ケースによって違うと考えられる。一つの自治体としてどう取り組むべきか、まだ答えが出ていない状況であるが、遠くの場所での保護など、最終的に警察の力を借りなければならぬことも予想される。

【問】盛岡市の認知症の方々が京都で発見されたという事例があった。本市の認知症の方々が、どこか遠くに行つて発見されたような場合の対応は。

【答】家族の有無など、ケースによって違うと考えられる。一つの自治体としてどう取り組むべきか、まだ答えが出ていない状況であるが、遠くの場所での保護など、最終的に警察の力を借りなければならぬことも予想される。

【問】盛岡市の認知症の方々が京都で発見されたという事例があった。本市の認知症の方々が、どこか遠くに行つて発見されたような場合の対応は。

【答】家族の有無など、ケースによって違うと考えられる。一つの自治体としてどう取り組むべきか、まだ答えが出ていない状況であるが、遠くの場所での保護など、最終的に警察の力を借りなければならぬことも予想される。

【問】盛岡市の認知症の方々が京都で発見されたという事例があった。本市の認知症の方々が、どこか遠くに行つて発見されたような場合の対応は。

【答】家族の有無など、ケースによって違うと考えられる。一つの自治体としてどう取り組むべきか、まだ答えが出ていない状況であるが、遠くの場所での保護など、最終的に警察の力を借りなければならぬことも予想される。

全国わさび生産者大会への対応は

【問】3年に一度開催される全国大会が、今年鳥根県で開催される。3年後の開催地に遠野市が予定とのことだが決定したのか。

【答】平成29年度岩手県大会は決定しており、開催地は遠野市の公算が強い。

【問】鳥根県大会に当市生産者が参加する

【答】鳥根県大会に当市生産者が参加する

【問】鳥根県大会に当市生産者が参加する

菌床しいたけと原木しいたけ栽培に対する支援策は

【問】菌床しいたけ生産者1404万円の内容は。

【答】震災による風評被害、資材等の高騰で、平成22年103万床だったものが平成25年66万床に落ち込んでいる。出荷量、販売量を維持するため菌床購入費用に対し単価108円の2分の1を助成して、7戸の農家で25万床を増量し66万床を維持したい。

【問】菌床しいたけと原木しいたけ栽培に対する支援策は

【答】菌床しいたけ生産者1404万円の内容は。

【問】菌床しいたけと原木しいたけ栽培に対する支援策は

【答】菌床しいたけ生産者1404万円の内容は。

【問】菌床しいたけと原木しいたけ栽培に対する支援策は